

(事前評価)【No. 8】

研究開発課題名	国際海上コンテナ背後輸送の効率化 方策に関する研究	担当課 (担当課長名)	国土技術政策総合研究所 港湾研究部 (港湾計画研究室長:安部智久)
研究開発の概要	<p>国際海上輸送の背後輸送はその太宗がトラック輸送によって行われているが、近年ドライバー不足が深刻化している。また働き方改革は労働環境を改善する一方でより多くの労力を必要とすることから、今後背後輸送の維持が難しくなる可能性がある。この一方、輸送の利用者である荷主はドライバー不足に備えるため、共同輸送等の省力化に取り組み始めている。例えばコンテナ輸送について背後地域で空コンテナを融通するコンテナラウンドユースが一部で行われている。しかし、個別企業間の取り組みには限界もあることから、社会全体で企業間の連携を促進していく必要がある。</p> <p>本研究は、企業間連携や背後地域への輸送方式の変更による効率化を主眼とした、国際海上コンテナの背後輸送維持のための社会システムを検討・提案するものである。</p> <p>【研究期間：令和3年度～令和5年度 研究費総額：約37百万円】</p>		
研究開発の目的 (アウトプット 指標、アウトカム 指標)	<p>企業間の連携（コンテナラウンドユース等）や、港湾地域と背後地域との間の輸送方式の変更（大量輸送機関や幹線輸送への転換、内陸地域での拠点導入等）による輸送効率化のための社会システムを検討し背後輸送を維持するとともに、輸送コストを低減化させることで我が国の立地競争力を向上させる。また、国際戦略港湾の政策目標である広域からの集荷力の向上にも寄与する。</p> <p>アウトプット目標：国際海上コンテナ輸送の背後輸送機能のための社会システムの提案と、その前提となるコンテナ背後輸送に関するドライバー不足の推計値の提示</p> <p>アウトカム指標：背後輸送の安定的確保、立地競争力向上（我が国全体）、輸送コスト削減・環境負荷軽減（荷主）、集荷力向上・渋滞軽減等（国際戦略港湾）、収益性改善（背後輸送事業者）等</p>		
必要性、効率性、 有効性等の観点 からの評価	<p>【必要性】（科学的・技術的意義、社会的・経済的意義、目的の妥当性等）</p> <p>トラックドライバー不足は今後より深刻化することが予想されているが、このような状況下でも安定的かつ効率的なコンテナ輸送を維持することは、我が国経済活動にとって必要不可欠である。また、その前提として国際海上コンテナの背後輸送に関するトラックドライバー不足の見込みについて算定し、推計値を社会全体で共有することが、企業間の連携を促進の観点から必要である。</p> <p>【効率性】（計画・実施体制の妥当性等）</p> <p>当所は、多様な輸送関係データ（国際海上コンテナ輸送の流動に関するデータ等）を用いた分析や、国際物流政策に関する分析に関して豊富な経験・ノウハウを有している。また背後輸送においては多様な主体が関与するが、当所がこれまでに蓄積した物流政策に関する知見を活用しつつ、国土交通省本省や地方整備局、荷主、トラック事業者、自治体等との連携によって、効率的に研究の遂行が可能である。</p> <p>【有効性】（目標の達成度、新しい知の創出への貢献、社会・経済への貢献、人材の養成等）</p> <p>背後輸送の効率化（輸送コスト削減等）は、国際戦略港湾の競争力向上（集荷力の向上等）、我が国の企業立地競争力向上に資する。ドライバー不足見通しの共有、背後輸送効率化のための社会システムの提案は、各地整による取り組み（国際物流戦略チーム等）への直接的支援となる。また本研究を通して背後輸送の維持という社会的課題に関する社会的コンセンサスを醸成し、企業間連携を促進させることで輸送の最適化に寄与する。</p>		

<p>外部評価の結果</p>	<p>本研究は、海上コンテナ輸送の効率化、トラックドライバー不足に対処するため、国が主体性を発揮して解決すべき喫緊の課題であり、国土技術政策総合研究所において実施すべきと評価する。</p> <p>なお、研究実施にあたっては、関係者とのように連携するのか、どのような成果が望まれるのかに留意して研究を進められたい。</p> <p><外部評価委員会委員一覧> (令和2年 8月 3日、国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会(第三部会)) 主査 兵藤哲朗 東京海洋大学教授 委員 岩波光保 東京工業大学教授、喜多秀行 神戸大学教授、野口哲史 (一社)日本埋立浚渫協会技術委員会委員長、二村真理子 東京女子大学教授、横木裕宗 茨城大学大学院教授</p> <p>※詳細は、国土技術政策総合研究所 HP>国総研について>研究評価>評価委員会報告>令和2年度 (http://www.nilim.go.jp/lab/bcg/hyouka/index.htm) に記載(予定)</p>
----------------	---

※研究費総額は現時点の予定であり、今後変わりうるものである。